

議員全員協議会会議録

平成26年10月3日

宮古市議会

平成26年10月宮古市議会議員全員協議会会議録目次

(10月3日)

| | |
|----------|---|
| 議事日程 | 1 |
| 出席議員 | 2 |
| 欠席議員 | 2 |
| 議会事務局出席者 | 2 |
| 開 会 | 3 |
| 協議事項(1) | 3 |
| 閉 会 | 5 |

宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時 平成26年10月3日（金曜日） 午後0時45分
場 所 市役所 6階大ホール

○

事 件

〔協議事項〕

(1) 子ども・子育て支援新制度施行に係る基準条例の制定について

出席議員（28名）

| | | | |
|-----|--------|-----|---------|
| 1番 | 今村正君 | 2番 | 小島直也君 |
| 3番 | 近藤和也君 | 4番 | 佐々木清明君 |
| 5番 | 白石雅一君 | 6番 | 鳥居晋君 |
| 7番 | 中島清吾君 | 8番 | 伊藤清君 |
| 9番 | 内館勝則君 | 10番 | 北村進君 |
| 11番 | 佐々木重勝君 | 12番 | 須賀原千工子君 |
| 13番 | 高橋秀正君 | 14番 | 橋本久夫君 |
| 15番 | 古館章秀君 | 16番 | 工藤小百合君 |
| 17番 | 坂本悦夫君 | 18番 | 長門孝則君 |
| 19番 | 佐々木勝君 | 20番 | 落合久三君 |
| 21番 | 竹花邦彦君 | 22番 | 松本尚美君 |
| 23番 | 坂下正明君 | 24番 | 茂市敏之君 |
| 25番 | 藤原光昭君 | 26番 | 田中尚君 |
| 27番 | 加藤俊郎君 | 28番 | 前川昌登君 |

欠席議員（なし）

議会事務局出席者

事務局長 上居勝弘
主任 菊地政幸

次 長 佐々木純子

開 会

午後 0時45分 開会

○議長（前川昌登君） ただいまから議員全員協議会を開会します。

ただいままでの出席は28名でございます。会議は成立しております。

それでは、次第に従いまして会議を進めてまいります。

○

協議事項（１） 子ども・子育て支援新制度施行に係る基準条例の制定について

○議長（前川昌登君） 本会議、休憩中ではありますが、急きよ、全員協議会を開催させていただきます。

内容は、昨日の全員協議会で説明を受けました「子ども・子育て支援新制度施行に係る基準条例の制定について」、教育民生常任委員会での協議の内容について、委員長から報告したいとの申し出がありましたので、皆さんに集まっていたいたところであります。

それでは、委員会での経過等について、教育民生常任委員長より報告願います。

坂本教育民生常任委員会委員長。

○17番（坂本悦夫君） お昼休みのところ誠にありがとうございます。

昨日、全協がありまして、その後の話し合いの経過等について、ご報告申し上げたいと思いますが、子ども・子育て支援新制度施行に係る基準条例の制定についてですが、9月12日の委員会及び昨日の全協等での議論を踏まえ、委員会において、昨日の全協終了後及び本日9時から、対応について協議いたしました。

その中で、家庭的保育者の資格に関する部分で、保育士と同等の知識、経験を有する者の要件を再度確認したところ、保育の質の低下を招く要因にはならないものと判断いたしました。よって、検討していた修正案は提出しないことと決定したものであります。ただし、家庭的保育者となるためには、研修の受講、知識及び経験を踏まえ、最終的に市長が適当と認めなければならないこととなっておりますので、保育の質の低下を招くことのないように、そのほかの対応に対しても、市長に対し、強く要請するとともに、議会に対する説明のあり方などについても、指摘することとしたものであります。

以上、報告とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（前川昌登君） 報告が終わりました。

この件については、ただ今の委員長からの報告を持って、了としたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前川昌登君） 竹花議員。

○21番（竹花邦彦君） 今、教育民生常任委員長の方から報告を受けましたが、私個人的には、坂本委員長の方は、言わば保育士以外の保育士と同等以上の知識を有する者の要件については、保育の低下をするものではない、こういう見解を教育民生常任委員会の方ではまとめた。これはちょっとどういうことなのかと、そのことについて、本来であれば私は見解を求めたいと思っておりますけれども、時間がありませんのであれですけども、そこは私は個人的に了解はできない。私はそこはやはり低下につながるという可能性はあるのではないかなと思っておりますので、今日の全協の場では少し指摘をさせていただきたいという風に思います。それから、確認の意味でここだけお伺いしたいのですが、市長に対して、低下をさせないあるいは協議のあり方についてというお話がありました。これはどういう形で教育民生常任委員会の意見として申し入れをする予定なのか、そこだけお伺いしておきたいと思っております。

○議長（前川昌登君） 坂本委員長。

○17番（坂本悦夫君） この結果を踏まえて、私と副委員長と二人で市長に直接、今までの経過等を説明しながら、あるいは教育民生常任委員会の考えをきちんと伝えていきたいと思います。

○議長（前川昌登君） 須賀原議員。

○12番（須賀原チエ子君） 一人で三人を見るのは大変だという意見に、私はすごい賛同したんですけども、その部分も変えることなく、このまま国の基準でいかせるということですか。

○議長（前川昌登君） 坂本委員長。

○17番（坂本悦夫君） そのとおりです。

○議長（前川昌登君） 上居事務局長。

○上居事務局長 今の件については、これからの議案になりますので、質疑の中で明らかにさせていただきます。

○議長（前川昌登君） 古舘議員。

○15番（古舘章秀君） 今回、このような状況になった原因は何かといいますと、委員会付託にする案件、委員会で調査する、常任委員会中心主義にしていくという形で議論するといったものが、委員会で議論するという仕組みが出来ていない。これは最終本会議の時に、いつもこういう形で突然出てくるということが、そう行く部分を委員会で審議する部分がない、時間的な部分がないわけですので、やはり、当初、こういう案件が出たら、議会改革の一環として、議会としてもしっかりと当局に申し出て、定例会が始まる時に、委員会に付託し委員会で審議する、最低でもそういう時間を設けるように、今後、議運等で議論していかないと、こういう問題はこれからも出るのではないかなと思いますので、私は今後、そういう形をとるべきだと思いますので、議運等で検討して取り組んでいただきたい、このように要望します。

○議長（前川昌登君） 松本議員。

○22番（松本尚美君） 今の古舘議員のご指摘の部分は、的を射ている部分だと思っています。これは一つには、委員会に先議権、審議権、いわゆる本会議を踏まえて、委員会に付託をするという方式を今はとっておりません。これは前からの課題でありますから、審査のあり方については、課題として残っておりますので、今後、速やかに変えられるものであれば、議会基本条例も含めて、変えていかなければならないポイントだと思っています。

それと最初の委員長報告を受けて、竹花議員の意見も出て、須賀原議員の意見も出ていますが、今のルールの中では、本会議で議案が上程された中で、質疑、討論をしていくという部分が今の原則となっております。ただ、今回、特にも教育民生常任委員会がこの条例案が出るという前提で当局から説明を受けた中で、いろいろ宮古市にとってどういった制度が良いのかということで、一生懸命議論をしたことは評価に値するとは思っております。そこで、結果を委員会として、委員長が今回、今日これからですが、条例案の提案を受けて、委員会としての意見をしっかりと当局に申し上げるといふか、意見表明をするということは、私はやぶさかではないなと思っています。ルール作りはルール作りとして、今回、一生懸命、教育民生常任委員会の方々が、制度についての質疑を重ねてきた部分についてのまとめは本会議で表明していただきたい。そのように思います。

○議長（前川昌登君） 坂本委員長さん、本会議で表明といふか、ご意見を述べてよろしいと思いますが。

〔発言する者多し〕

○17番（坂本悦夫君） はい、わかりました。

○議長（前川昌登君） 他に何かございますか。

ないようですので、私の方から少し。この前の目黒のさんまつりで、神山町の皆さんがすだちを販売していましたが、神山町の町長さんから、議会にということで、すだちが送られてきましたので、帰りに事務局によって持って行ってください、

閉 会

○議長（前川昌登君） これをもって議員全員協議会を閉会します。

ご苦労さまでした。

午後 0時54分 閉会

宮古市議会議長 前 川 昌 登